

大崎広域ほなみ園 支援プログラム

| | | | |
|---------|---|-------|--|
| 事業理念 | 障害のある子供とその家族がともに笑い、安心して日常生活が送れるよう支援します。 | | |
| 支援方針 | <p>(1) 子供の障害の状態及び発達過程・特性等に十分配慮しながら、子供一人一人の成長を促す丁寧な療育に努めます。</p> <p>(2) 日々障害のある子供を育てている保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら、保健師や関係機関と連携し、家族の負担の軽減を図るための支援を行います。</p> <p>(3) 障害のある子供の地域社会への参加・包容を推進するために、関係機関と連携を取りながら、地域の子育て環境や支援体制の構築を図ります。</p> | | |
| 営業時間 | 9:30~16:30 (療育時間: 10:30~14:45) | | |
| 送迎実施の有無 | 有 | | |
| クラス | 3クラス編成 (そう・うさぎ・きりん), 各クラス定員10人 | | |
| 支援項目 | 支援内容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康 | <ul style="list-style-type: none"> ・体調面、衛生面に留意し、健康で安全な生活を作り出せるよう支援します。 |
| | | 生活リズム | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日登園することで、日中はたくさん身体を使って遊び、夜はぐっすり眠れるような生活リズムを作ります。 |
| | | 食事 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた食形態の給食を提供し、しっかりと咀嚼ができるよう支援します。 ・段階を踏んで食具を使って食べる練習を行い、自分で食事ができるよう支援します。 ・正しい姿勢で座って食べる習慣がつくよう、椅子などの環境を整えます。 |
| | | 排泄 | <ul style="list-style-type: none"> ・定時でおむつ交換を行い、清潔に過ごせるよう配慮します。 ・定時でおまるや便座に座り、排尿リズムをつかんでいけるよう支援します。 ・排泄後の後始末を職員と一緒に練習し、習慣づけます。 |
| | | 着脱 | <ul style="list-style-type: none"> ・段階を踏んで、衣服の着脱の練習を行い、動作を身につけるよう支援します。 ・自分の持ち物の準備、始末ができるよう支援します。 |
| | | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・身体的発達段階に合った姿勢で過ごします。また、正しい姿勢で過ごせるよう、補助具(足台など)を使い環境を整えます。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢や下肢の運動・動作を身につけるために、以下のことに取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> ①粗大運動を通して、身体全身を使って遊び、体幹を鍛えます。(マット遊び、サーキット遊び、戸外遊びなど) ②手先を使った遊びを通して、指先の力をつけ、細かい動作ができるよう支援します。(教材遊び、お絵描き、制作など) ・様々な感触遊びを体験する中で感覚の特性を踏まえ、過敏性・鈍麻性を緩和できるよう支援します。(光・音・手触りなど) |

| | |
|--------------|---|
| 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の認知の特性を理解し、個々に応じて日常生活上の情報を適切に処理し、行動できるよう支援します。（1日のスケジュールを掲示するなど） 認知や行動の手がかりとなる概念の形成を図るため、遊びや活動を通して物（食べ物・動物・乗り物など）の名前を覚えていけるよう、一人一人に合わせて支援します。また、生活や遊びの中で数や形、大小、色等に触れる機会を持ち、理解できるよう支援します。 |
| 言語・コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> 子供一人一人の気持ちや表現を受け止め、相手に伝わった喜びが感じられるよう支援します。 障害の種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、自分の要求や気持ちを表情や発声、身振り、各種の機器等を用いて意思のやり取りができるよう支援します。 個々の様子に応じて、単語や身振り、サイン、絵カード等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりできるよう支援します。 相手を意識した関わりが持てるよう言葉やしぐさでやり取りし、状況に応じたコミュニケーションが取れるよう支援します。 |
| 人間関係・社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 大人との基本的な信頼感と安心感を持てるようアタッチメント（愛着）の安定を図ります。また、友達と一緒に関わる楽しさが味わえるよう一人一人の様子に合わせて段階的に支援します。（触れ合い遊び、追いかけて遊び、ごっこ遊びなど） 活動を通して、順番を待つことや、簡単なルールを守ることなど、社会性の発達を促します。（サーキット遊び、集合ゲームなど） 大人の声かけや指示を聞いて、動きをまねたり、行動したりできるよう一人一人に合わせて支援します。（指示理解） |
| 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> 連絡帳を通して、日々の変化や成長を伝えます。また、家庭での心配なことに対して都度相談に乗り、助言します。 専門職の講師を招き、研修会を実施します。（子供との関わり方や発達への理解など） <u>みんなの広場</u> お子さんの発達に関する悩みを抱えている御家庭を対象に、療育活動を体験していただきます。 |
| 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> 併行通園先の保育所等と、当園での取り組みや関わり方を共有し、連携を図ります。 就学先と年度末に引継ぎを行い、スムーズに移行ができるよう支援します。 地域の同年代の子供と交流を持ち、関わりが持てるよう支援します。（近隣保育所との交流会） |
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> 保健師と担当児童について、定期的に情報共有を行います。また、お子さんの状況やライフステージに合わせ、支援の在り方を検討します。 <u>公開講座</u> 地域の保育所や幼稚園等に対して当園の療育を公開し、専門的知識と療育技能を広める研修会です。 <u>児童発達支援連携会議</u> 大崎圏域の障害児通所支援事業所と連携し、大崎圏域の障害児支援の質の向上を図ります。 |
| 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 子供の発達や障害種別などに関する研修会に参加し、知識・技能の習得に努めます。 |

| | |
|--------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> • 園内職員研修（外部作業療法士を講師に招き発達・環境構成・関わり方の学び、事例検討など）を実施し、療育の質の向上を図ります。 • 虐待防止研修や感染症対策研修，送迎バス内における発作対応訓練，不審者対応訓練を実施し，お子さんの安全・安心の確保に努めます。 |
| <p>主な行事等</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 親子行事：春の遠足，参観日（年2回），親子わらべうた研修会，ほなみ園まつり，保護者研修会，クリスマス会，卒園式・おくる会 • 園児のみの行事：園外療育（クラスごと），ひまわり園交流会，支援学校交流会，クラス遠足（クラスごと） • 季節の遊び・行事：プール遊び，雪遊び，七夕会，豆まき会，ひな祭り会 • 毎月の行事：誕生会，合同朝の会，避難訓練 |